

人権啓発活動紹介⑦

# 人権擁護委員による「人権教室」の実施

人権擁護委員は、学校等からの要望で、人権講話などを行っています。令和4年7月1日には、足利市立東山小学校において「人権教室」が実施されました。児童たちは、朝の登校後、クラスルームで人権に関

係する動画をリモートで視聴したり人権擁護委員の方々の話をお聞きしたりしました。

その後、学級ごとで担任の先生が学年に合わせた各々の方法で、人権について児童たちと学習をしました。参加した人権擁護委員たちは、東山小学校の校長先生の案内で、各学級をまわり、それぞれの学級で様々な方法で児童に説明する教諭の姿を見て、改めて「人権」に向き合っていたようです。

実は、この東山小学校の元校長先生が人権擁護委員として参加しており、教室を回ると多くの児童や教諭と顔を合わせ笑顔も見えました。



## 令和4年度「人権の花」運動について

足利市立毛野小学校

足利市立山辺小学校

足利市立山前小学校

足利市立葉鹿小学校

### ～足利市内の4小学校に花の苗を届けました!～

足利市では、市立小学校22校と県立の支援学校2校のうち、毎年4校ずつに花の苗を贈呈しています。子どもたちは、学校で花を育てるとともに、子どもたち自身も「相手を思いやる心」を育てています。この運動は、足利市のみではなく、全国で実施されています。

で育てていることが分かるように看板が立てられていますので、小学校に行かれた際には、看板とともに綺麗に咲いた花が、皆様の目に留まるかもしれません。

令和4年度は、毛野小学校、山辺小学校、山前小学校、葉鹿小学校の4校に人権擁護委員を通じて、サルビアの花苗などをお贈りしました。新型コロナウイルス感染症が流行する前は、体育館などで全校児童が集まって実施していた贈呈式は、放送室などと各教室をリモートで結んで行うなど、密にならない「ウイズコロナ」の贈呈式に変化してきています。

植えられた花の苗のそばには、「人権の花」運動



山辺小学校での贈呈式